

甲府市P連だより

甲府市小中学校
PTA連合会情報活動部

市P連事務局
〒400-0043 甲府市国母4丁目1-12
TEL. (055) 222-3866
FAX. (055) 222-3889
http://www.ptakofu.org
E-mail: info@ptakofu.org
印刷: 総合印刷 王文社

令和5年度 市P連活動を振り返って



甲府市小中学校PTA連合会
会長 向山 祐司
(大國小)

甲府市小中学校PTA連合会会員の皆様には、日頃より深いご理解とご協力を賜り心より感謝、御礼申し上げます。

長かった新型コロナウイルス感染症の制限も5類へと移行し徐々にではありますが、教育現場にも、明るい笑顔と日常が戻りつつあります。

今年度は、スローガンに「初志貫徹」をかかげて今一度本会における活動や在り方を見つめ直す機会としてきました。PTAという組織を取り巻く環境は決して良くありません、ネガティブなニュースも沢山見受けられます。

子どもファースト…全ては子ども達の為に…

私達自身が自ら学び、その変化に対応していく事で子ども達の笑顔や健全な育成につなげていきたいと思います。

忘れかけているつながりや関わり、保護者、学校、行政、地域、全てがより一層今より更に深まって繋がっていくことが何より大切ではないでしょうか。

踏み出す勇氣

はんにや、川島さんが講演

甲府市小中学校PTA連合会加盟38校の会員（保護者・教職員）が一堂に会する研修会「全体研修会」が、11月11日(土)午後1時半よりかいてらすに於いて開催されました。

今年度は会場の確保に苦慮し、複数の学校の行事と重なる日になってしまいましたでしたが、研修会当日は169名の方に参加していただきました。

会場では、市P連の2委員会2専門部活動展示、単位PTAの広報紙展示と配布を行いました。他の学校の広報紙を見る機会が普段はないので、とても参考になったという声も寄せられました。

講演会では、「はんにや」の川島

章良さんを講師にお招きして、演題「まさか…32歳でがん告知」家族に支えられた僕々のお話をさせていただきました。

式典に続いての講演会ではありましたが、お笑い芸人川島さんの軽妙な話術により、あつという間の1時間半でした。

プロポーズする夜に自分が「がん」であることを知り、絶望する川島さんとは反対に、「良かったじゃない」(病気が見つかった)とポジティブに返した奥さんのエピソードが印象深く、奥さんこそ不安に感じ動揺してもおかしくないのに、強く優しい方だなと思いました。夫や子ども達に接する時に、マイナスな出来事があったても、プラスにかえて返してあげられる、自分もそんな妻や母になりたいとも思いました。

川島さんは、ご家族の支えもあり現在は元氣だということでしたが、闘病を経て、人生は一度きり、自分のやりたいことをやる、踏み出す勇氣、の大切さも語られていました。がんの功名で得たことも多くあったということ、無駄なことはないことも感じました。

がんサバイバーとしてのお話以外にも、ご自身の体験をもとにした夫婦関係(お互いの視点に立つ)、子育ての話(無理したら反動がくる、適度なゆとりをもつ)など、身近な話題もあり、親近感がわき、共感できるお話を聴くことができました。

また、健康診断、セカンドオピニオン、サードオピニオンの重要さも、今回の講演で再認識しました。



3年ぶりの開催に笑顔 Saturday Study (土曜学習)



令和6年1月27日(土)、コロナ禍のため3年ぶりとなるSaturday Study (土曜学習)を南公民館にて開催しました。親子で楽しめるイベントとして企画調査委員会を中心に企画しました。

小学校低学年は、甲府市林政課による「親子で時計型の貯金箱を作ってみよう」、山梨県立甲府城西高等学校吹奏楽部による「高校生と一緒に楽器の体験をしてみよう」の2部構成とし、小学校高学年・中学生は「漫才を通してコミュニケーションを学ぼう」と題し、山梨住みます芸人のいしいそうたろうさん、ティカトウさんによる漫才ワークショップを行いました。

真剣な表情で貯金箱の色塗りをしたり、体全体で音楽を表現したりと体験を通じて楽しいイベントとなりました。参加者全員の前の親子漫才ではアドリブも飛び出し、会場一体となって笑顔溢れる楽しい土曜学習となりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



R5年度 企画調査委員会アンケート結果

【性教育】【経済的負担の軽減要望】【携帯端末の状況】

今年度、当委員会では下記の3項目に関しまして加盟連の38校のご協力をいただき、各校の「安心メール」を利用して10,219世帯に調査を行いました。

回答の回収は3,369世帯(32.9%)よりご回答をいただくことができました。

【アンケート項目と目的】

1. 家庭での性教育について

子供たちが「性」についての正しい知識を身に付け、自分のことも、相手のことも尊重することや自分の身を自分で守ることを、保護者や学校から子供達に伝えていくために、今、各ご家庭で「性教育」についてどのような関わりを持っているか知りたいという現状認識と今後の課題について共有をいたく実施しました。

2. 保護者の経済的負担が軽減される為に望むこと

現在各御家庭で、子供の『教育資金』において、保護者がどのような事象に資金負担を感じているかを調査目的として実施しました。

3. 携帯端末等に関する実態調査

昨年度は子供のパソコン・スマートフォンなどによるネット活用に関するアンケートを実施させていただきました。今年度は更に、各御家庭の携帯端末の活用やトラブルなどについて調査を行い、携帯端末について如何に適正に使用させていくのかを実態調査をもとに共有をいたく実施させていただきました。

【アンケート調査結果と課題や提言】

1. 家庭での性教育について

「各家庭での性教育の実態」がかなり明確になった上にプラスして浮き彫りになったこともあります。それは、正解のない性教育について、かなり様々に考えがあり各家庭で違いや差はあれど、多くの保護者が「学校での充実した性教育を望んでいる」ということです。愛する子供たちが迷わないようにやはり学校、そして家庭（地域）が一体となり、「性教育」にも取り組んで行くことが課題ではないかと感じました。

そして、みんな人生は一回です。子供たちの輝かしい将来の為に自分と相手を守るように経験と知識を授けられる「大人」でありたいと思います。

2. 保護者の経済的負担が軽減される為に望むこと

経済負担トップの2項目では、「単年度しか使わない教材の自費購入」と、他の一部市町村では給食費の「全額公費負担」になっているにもかかわらず、甲府市では給食費の「自己負担」が発生している点が挙がりました。この2点に関しては多くの家庭で負担を感じている様子です。

一方で、PTAの会費や活動に関する意見も寄せられ、PTAへの課題も垣間見ることができます。

3. 携帯端末等に関する実態調査

時代背景からも、今後はより低年齢の子供までもが所持していくことが見込まれます。また所持するタイミングや使用ルール等は各家庭で様々であり、現段階で既に発生しているトラブル等を元に、各家庭や学校教育を通して子供たちが事件・事故に巻き込まれないように私たち大人が見本となつて「携帯端末の正しい使用に慣れる」ようにしてあげたいものです。

★アンケート集計結果は、
市P連ホームページ
お知らせ欄からご覧
いただく事ができます。



市P連ホームページお知らせ欄
QRコード



創立150周年おめでとうございます

今年度、創立150周年を迎えられた
3校の小学校をご紹介します

里垣小学校

里垣小学校は、明治6年3月に板垣小学校として善照寺を仮校舎として開校し、今年度で創立150周年という大きな節目を迎える、市内でも歴史を誇る学校の一つです。

11月11日には、4年ぶりとなる学校開放日に、全校一斉の授業参観と合わせ、記念式典を行い、地域の皆様と歴史を振り返りました。児童の発表では、6年生の代表が「全校のみんなが、協力してたくさんの行事を成功させてきた、素晴らしい学校です」と述べ、さらに「先輩たちが築いてくれた伝統を引き継いで行かなくてはなりません」と、力強い発表をしてくれました。



記念講演として、平成29年度のPTA会長を務めた、シンガーソングライターの伸太郎さんをお迎えして、「夢」についてのお話をいただきました。その中でも「笑顔」が一番大切であることを、子どもたちに教えてくれました。講演の中では、2014年に伸太郎さんと里垣小学校の児童、保護者で作ったオリジナルソング「心と心に虹を架けよう」を出席者全員で歌いました。この歌には「笑顔」と「元気」、そして「夢」と「希望」と「勇気」が詰まっています。歌い終わった後には、涙を滲ませる方もおられ、感動の記念講演となりました。



千塚小学校

千塚小学校は、令和5年9月27日に150周年を迎えました。明治6年9月に千塚村称念寺を仮校舎に開設され、明治11年に宮塚学校、明治20年に千塚尋常小学校、昭和16年に千塚国民学校と改称を続け、昭和22年4月に現在の甲府市立千塚小学校という名前になりました。

校庭の北側には、150周年の記念として千塚小の校章が入った時計塔が設置されました。

10月26日に行われた150周年記念式典では、千塚小学校を支えてくださっている地域の方々や歴代の校長先生など、たくさんのご来賓の皆様や保護者の皆様にお越しいただきました。学習発表では3年生から6年生までが千塚小の歴史や校歌、千塚地区のことについて調べたことを発表しました。



式典後のこうふドリームキャンパスでは、本校の卒業生である宮沢和史様を夢の先生としてお迎えし、子どもたちの将来の夢について、ご自身の体験や知識をふまえてアドバイスをしてくださいました。三線の音色とともに歌ってくださった「島唄」と「風になりたい」を全員で合唱した時には感動の温かい空気に包まれ、会場にいた全員にとってとても貴重な体験となりました。

式典開催にあたりPTAをはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



中道南小学校

今年度、中道南小学校が中宿にある常福寺を仮校舎として明治6年(1837年)に創立(右左口学校)されてから150周年という大きな節目を迎えました。この節目を、在校児童のみならず、PTA、同窓会、地域の方々みなでお祝いしようと、11月11日(土)に、創立150周年記念式典を行いました。

式典当日、会場となる体育館入り口には、第8代同窓会長様が丹精込めて育てた菊鉢の花々。講演会は、本校卒業生である林部様を講師に迎え、『中道って、こんなにとってもいいところ!』の演題で、地名の由来や中道往還についてお話をいただきました。普段見慣れた場所や自分の家の近くが由緒あるところだと知ることは、児童たちにとって、地域に誇りを持ち、郷土愛を育む機会となりました。



式典の最後に、地域で活躍する「なでしこハーモニカクラブ」の皆さんの伴奏で、会場一体となって校歌を歌いました。来賓や保護者の方々の中にも本校の卒業生は多く、懐かしさもひとしおでした。

この記念式典を通し、中道南小は地域の皆さんに応援され、支えられているのだと改めて実感しました。



教育研修部

部長 名取 初穂(千塚小)

今年度、教育研修部では、2回の部会・学習会と全体研修会の企画・運営を行い、全体研修会当日は会場準備や受付、進行などを部員が担い、教育研修部の活動内容について参加者の方々に知っていただけるように、掲示物を作成し掲示しました。

第2回部会は、2月23日(金)南公民館にて開催し、山梨県警察本部生活安全部少年・女性対策課少年対策官の北原宏明様を講師にお招きして、「防犯」をテーマに、SNSを起因とする様々な犯罪があふれている今、保護者として子ども達や地域のためにできることについての講演をしていただきました。学習会へは部員だけではなく、単位PTA役員の方々、市P連へ出向している企画調査委員会、育み委員会、情報活動部の方々にもご参加いただけるようご案内させていただきました。

この一年、部長として様々な方やPTAの活動に関わることができ、また学習会を通して学ぶことが多くありました。来年度は、今年度の活動を通して出された課題を解決しながら、更に有意義な学習会を開催していってほしいと思います。



企画調査委員会

委員長 佐藤 俊明(舞鶴小)

同委員会では令和5年度、熟考の末「性教育について」「携帯端末の使用状況」「保護者が経済的負担を感じること」の3つのアンケートを実施しました。

そして、1月27日(土)には南公民館にて「土曜学習会」と銘打ち、市内の小中学生を対象に「楽器体験」「木工教室」「漫才ワークショップ」を開催しました。どれも盛況に終わり、和やかで楽しい雰囲気のもと、子供たちと保護者の皆様の沢山の笑顔を見れた事は私たちスタッフの大いなる喜びとなりました。コロナ禍で3年間出来なかった学習会ですが、改めて「本当にやって良かった」という思いで一杯です。

企画調査委員会の内容を充実したモノにするのは決して楽ではありませんが、来年度携わる皆さんには、より「市P連の存在意義」を高められるよう期待しています。



情報活動部

部長 川崎 哲也(伊勢小)

情報活動部では市P連だより掲載記事内容、発行にあたり、なかなか集合する機会も少なく、オンライン上のやり取りが主となりました。

実際に顔を合わせての意見交換が行えず、歯痒さを感じることも多かったですが常任理事役員、事務局、他部門の方々をはじめ多くの方々の御支援、御協力により一年間の活動を無事に行うことが出来ました。

PTA参加初年度に部長という大役でしたが理事会や全体研修会、土曜学習会などの活動に参加させて頂いたことによりPTA活動の重要性を知り、より多くの方に周知する必要があると感じました。来年度以降もPTA活動を発信し、子どもたちも楽しめるような紙面作りができることを期待しております。



育み委員会

委員長 小林 佳子(朝日小)

コロナが5類に移行され、そして育み委員会として初年度の年となりました。

1回目は「睡眠」、2回目は「子どもへの関わり方」そして3回目は「お米の活かし方」と毎日の生活に欠かせない事を学ばせていただきました。そして長年継続している学校給食を含めた学校生活に対する要望書を12月に甲府市教育委員会に提出しました。

これからもたくさんの事を学び、家庭生活に活かせるような育み委員会であってほしいです。



市P連だより第92号間違い探しクイズ当選者について

市P連だより第92号に掲載した間違い探しクイズには各小中学校から68名の応募をいただきました。当選者の方々には賞品を発送いたしました。

92号では93号に正解者の氏名掲載と記載していましたが、個人情報の観点より、賞品の発送を持って発表に代えさせていただきます。

編集後記

今年度はコロナウイルス感染症が5類になり活動制限が解除され様々な活動が開催されました。発行にあたり多くの皆様にご協力をいただき無事に市P連だより第93号を発行することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

情報活動部一同